

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

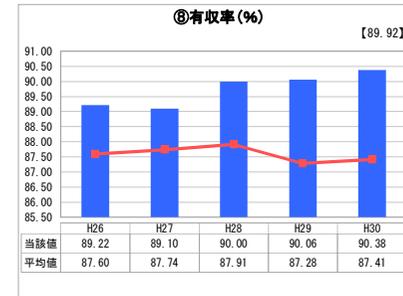
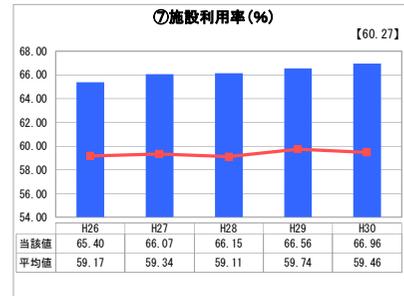
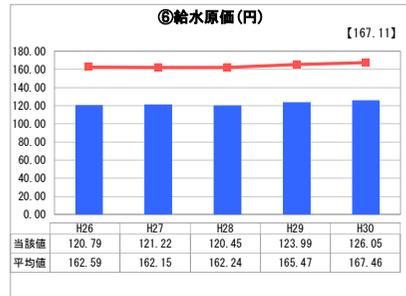
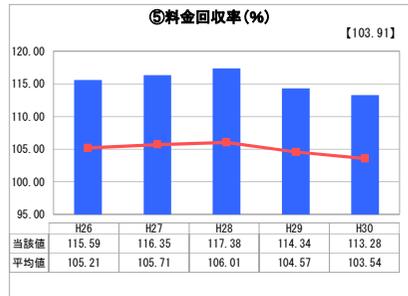
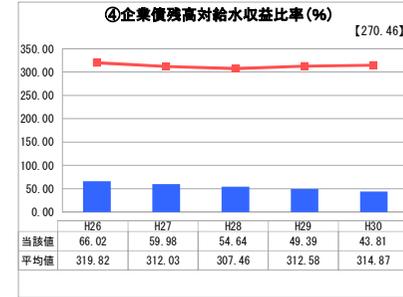
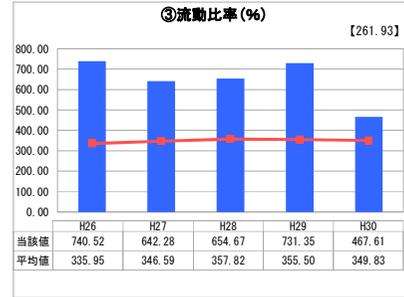
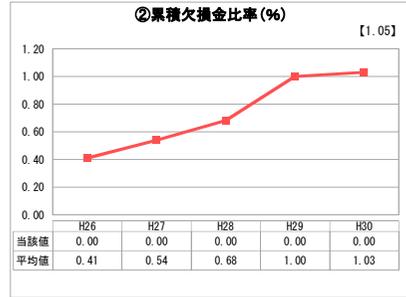
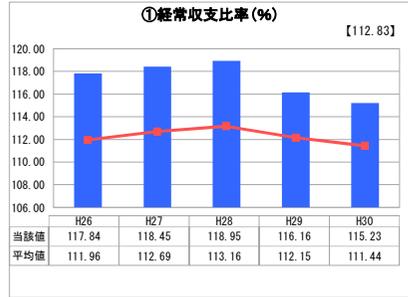
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	91.15	99.87	1,890	

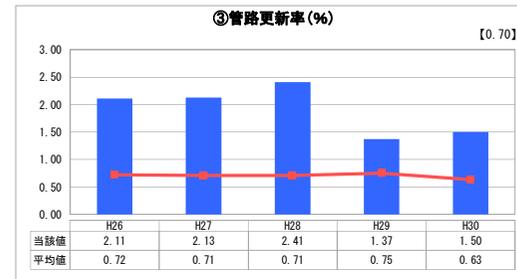
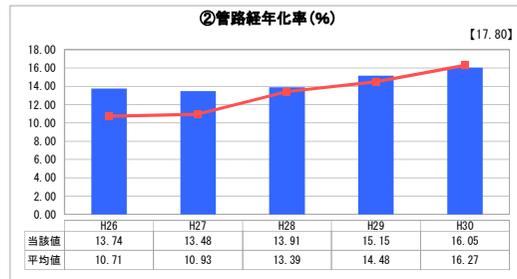
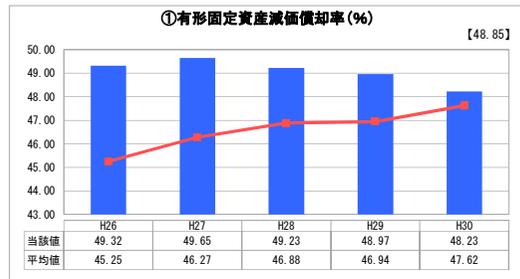
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
90,290	65.35	1,381.64
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
90,094	65.69	1,371.50

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
単年度の収支が黒字であることを示す100%を上回っており、類似団体の平均値を上回っているが、平成29年度、平成30年度と下降傾向であり分母となる経常費用の推移に注意する必要がある。

②累積欠損金比率  
該当なし

③流動比率  
1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%を大きく上回っている。但し、老朽管更新を進めており、流動資産のうち現金は減少傾向である。

④企業債残高対給水収益比率  
類似団体の平均値を下回っており、企業債に頼らず事業を行っている。

⑤料金回収率  
給水に係る費用が、給水収益で賄えていることを示す100%を上回っており、類似団体の平均値を上回っている。

⑥給水原価  
類似団体の平均値を下回っており、安い原価で給水を行っていることを示している。

⑦施設利用率  
一般的には高い数値であることが望まれ、類似団体の平均値を上回っている。

⑧有収率  
類似団体の平均値を上回っている。老朽管更新の成果により、上昇傾向である。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、類似団体の平均値を上回っているが、管路・施設の更新により下降傾向である。

②管路経年化率  
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、類似団体と同程度である。現在、老朽管更新を進めている。

③管路更新率  
当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、類似団体の平均値を上回っている。

### 全体総括

経営の健全性・効率性の分析から、当水道事業は適正な運営を維持していると判断できるものの、経常収支比率・料金回収率は平成29年度、平成30年度と低下しており、要因となる委託料・修繕費の増及び減価償却費の推移を注視する必要がある。

また、老朽化の状況から分かるように、管路・施設の老朽化が進んで来ており、当水道事業では計画に基づく管路・施設の更新を積極的に行っている。